

## 地域包括ケアモデル事業について

### 1 実施市町村（平成26年度～28年度）

モデル	箇所数	実施市町村
地区医師会モデル	3か所	安城市、豊川市、田原市
訪問看護ステーションモデル	1か所	新城市
医療・介護等一体提供モデル	1か所	豊明市
認知症対応モデル	1か所	半田市

### 2 平成27年度の特徴的な取組

安城市	<ul style="list-style-type: none"> <li>全町内会での実施を目指し、<b>健康体操教室の拡充</b></li> <li>家事援助、外出支援等の<b>日常生活支援活動</b>や、運動、交流等の<b>通いの場活動</b>の提供活動を行う団体への助成の実施</li> </ul>
豊川市	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動、体操を取り入れた<b>認知症予防教室</b>を開催</li> <li>認知症等の高齢者に対する話し相手不足への対策として、<b>個人宅傾聴ボランティア事業</b>を実施</li> </ul>
田原市	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民主体のサロン活動への<b>介護予防リーダーの派遣</b>、市職員による相談対応等を実施</li> <li>日常生活を手助けしてくれるサポーターを、地域通貨を通じて紹介する<b>生活ささえあいネット</b>の拡充</li> </ul>
新城市	<ul style="list-style-type: none"> <li>予防・健康づくりや地域での支え合い促進のため、地域に出向き、<b>健康づくり教室・相談会</b>を実施</li> <li>住まい対策協議会の設置</li> </ul>
豊明市	<ul style="list-style-type: none"> <li>藤田保健衛生大学と連携し、退院時の調整や在宅療養への移行の課題等を検証する<b>退院支援地域連携実証事業</b>の実施</li> <li>豊明団地において、「<b>ふじたまちかど保健室</b>」を開設</li> </ul>
半田市	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>認知症徘徊搜索訓練</b>を開催</li> <li>認知症に関する啓発活動の推進のため、市医師会、エーザイ(株)と<b>認知症の方が安心して暮らせるまちづくり連携協定</b>を締結</li> </ul>

### 3 平成27年度の主な成果、課題

成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関連絡会議等で挙げた課題に対する施策をとりまとめ、各機関に周知し、迅速に実施できた。</li> <li>健康づくりリーダーや介護予防リーダーを活用した認知症予防、閉じこもり予防教室等を開催し、高齢者が集まる機会の増加や予防に対する意欲が向上した。</li> <li>自宅から歩いて行ける地域サロンの設置を目指し、立ち上げ支援を実施し、新規サロンが多く立ち上がり、活動も活発になってきた。</li> <li>認知症ケアパスの作成を通して抽出された課題に対して、認知症安心ガイドブック、認知症初期集中支援チーム、認知症カフェ、行方不明者対策等新しい施策に重点的に取り組むことができた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>予防活動を主体的に行うリーダーを確保することが難しい。</li> <li>予防教室参加者は大部分女性のため、男性向け教室の内容の検討が必要である。</li> <li>生活支援は各自治会との連携が必須であるため、今後も各自治会へ訪問して連携を取っていく必要がある。</li> <li>住まいの検討・対策については、建設部門との調整が必要となる。</li> </ul>

#### 4 平成28年度の主な取組

安城市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療介護連携のためのICT導入と利用の開始</li> <li>・ 全中学校区における認知症高齢者徘徊搜索模擬訓練の実施</li> </ul>
豊川市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT利用促進として高齢者相談センター向け電子@連絡帳説明会の開催</li> <li>・ 出張出前講座やおいでん祭PRブースにて地域包括ケアに関する普及啓発を実施</li> </ul>
田原市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族介護支援教室、介護相談出張所の開催</li> <li>・ 医療・介護施設の増減把握</li> </ul>
新城市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活支援におけるボランティア養成講座を開催</li> <li>・ 健康づくりリーダーを活用した予防教室を開催</li> </ul>
豊明市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な地域において、介護予防に取り組むまちかど運動教室を開催</li> <li>・ 多職種合同ケアカンファレンスの開催</li> </ul>
半田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様な予防・生活支援サービスの提供に向け、在宅生活支援部会を開催</li> <li>・ 認知症カフェの開催及び新規開設に向けた準備</li> </ul>

#### 5 普及啓発

平成28年10月28日（金）に、ウィルあいち（愛知県女性総合センター）において「地域包括ケアモデル事業中間報告会」を開催予定。

#### 6 地域包括ケアシステム構築に向けた取組状況（平成28年4月時点）

地域包括ケアシステム構築に向けた取組を実施している市町村数 17市町村

- 考え方：①～③の項目を全て実施している市町村（各市町村調査（平成28年5月））
- ① 医療・介護等の資源の把握と住民からの相談対応
  - ② 関係機関のネットワーク化と住民からの相談対応
  - ③ 地域で不足している医療・介護等の基盤整備

#### 7 新たな団地における地域包括ケアの取組

昭和40年代頃から整備が始まった大規模団地では、団地が老朽化する中、ひとり暮らしの高齢者や高齢の夫婦のみの世帯も多く、孤立化などの問題も顕著となっていることから、平成27年度、高蔵寺ニュータウンを対象地域として、団地における地域包括ケアの姿やそれを実現するための取組・工程などについて検討をすすめ、本年3月に「地域包括ケア団地モデル構想」をとりまとめた。

平成28年度は、「地域包括ケア団地モデル構想」を実現するため、団地モデル事業を実施していく。

##### 地域包括ケア団地モデル構想（抜粋）

##### 【目指すべき団地モデルの姿】

- 1 団地内に医療・介護事業や相談室等が集まった地域包括ケアの拠点があり、必要なサービス等が連携して提供されている。
- 2 サービス付き高齢者向け住宅の整備や既存住宅のバリアフリー化などにより、高齢者が安心して生活できる住まいが確保され、見守りや生活支援サービスの提供も行われている。
- 3 高齢者自らが健康づくりや介護予防に取り組むとともに、気軽に集まることができる居場所において、サロン活動への参加や多世代との交流等が行われている。